

<各活動の詳細内容>

活動1：過去3カ年の研究会の効果測定

1、 JANARD ホームページの立ち上げ

<http://www.janard.org/index.html>

平成16年7月17日の総会の際にメンバーから提案された内容。過去3カ年を振り返って、JANARD そのものの組織としての評価、また過去3カ年の研究会の効果測定のアンケートを実施するにあたり、情報が十分に提供されている必要があるという認識より、ホームページ立ち上げに至った。また、今後のメンバー拡大を狙って、ホームページを充実させていくこととなった。(ホームページの内容は添付書類を参照)。

2、 JANARD メンバー団体を対象としたアンケート調査の実施

JANARD のホームページ上、および郵送にてアンケート形式で実施。アンケートの結果は以下のとおり。

実施期間：平成16年9月21日から10月31日まで

対象：評価調査の対象はJANARD メンバー団体、JANARD アドバイザー、JANARD 認知度調査は日本全国のNGO、NPOを対象とした。

回答率：51.2% (21回答/対象32団体代表+アドバイザー9名)

質問内容：

- 1) JANARD の活動への参加
- 2) JANARD の組織体制

調査結果：

<JANARD の活動への参加について>

- * JANARD の例会、総会、研究会等の開催に関する認識は、回答者の中では比較的高い。
- * 例会の出席については、過去に一度も出席したことがない団体が23.81%。
- * 例会、総会、研究会に出席できない理由は、共通して「時間がない」が最も多い。
- * しかし、研究会を継続する声は高い(52.4%)
- * 研究会の内容としては、有機農法(57.0%)、評価手法(57.0%)、資金獲得等(57.0%)

を希望。

- * 研究会以外には、政府、国会議員等へのアドボカシー活動の強化を希望する声も強い（52.4%）
- * JANARD への参画としては、限られた時間の中でできることを協力したい（47.6%）。
- * JANARD のメンバーであることのメリットは、NGO 同士で仲間が増えた（71.4%）、農業・農村開発における知識の向上（52.3%）。

<JANARD の組織体制について>

- * JANARD には（現存の）運営委員会の機能が必要（33.3%）という一方、運営委員会ではなく課題別にワーキング・グループを置く形がいい（23.8%）という声もある。
- * 運営委員会等、意思決定のプロセスには透明性がある（61.9%）が、運営委員会の役割と機能を明確にする必要性は指摘された。
- * 意思決定のプロセスの透明性を保つには、JANARD の会費 10,000 円ぐらい払って全力投球の参加をしてほしいとのコメントもあった。
- * アドバイザーへは、NGO 活動へのアドバイス（57.1%）、研究会等でのリソース・パーソン（52.3%）等の役割を求める。
- * 自由意見の中では、今一度 JANARD の方向性、ビジョンを明確にし、それを関係者でよく共有することの必要性が複数の団体から指摘されていた。

<今後の課題>

以上のアンケート調査の結果を踏まえ、

- 1) JANARD の今後の方向性の確認（フィールドにおける活動展開の有無を含む）
- 2) JANARD の組織体制の見直し＝運営委員会の機能、ワーキング・グループの結成等。
- 3) 研究会の継続検討

と、総括できる。